

5月15日：ベトナム株は3日続落

ホーチミン取引所のVN指数は0.65%安の827.03ポイントで金曜日の取引を終えた。

VN指数は直近3営業日で1%下落、先週合計では1.63%高となった。

ハノイ取引所のHNX指数は2.08%安の109.02ポイントで取引を終えた。週間では0.91%安となった。

出来高は3億7460万株で売買代金にして5.88兆ドンであった。

相対取引で3億2900万株が取引された。売買代金にして4.83兆ドンであった。

両取引所合計で、下落銘柄が328銘柄となり165銘柄のみが上昇した。

大型株、中小型のどの指数も下落して取引を終えた。それらの3指数は0.87-1.09%安となった。

VN30指数では30銘柄の内の20銘柄が下落、6銘柄のみが上昇した。

バオベトホールディングス (BVH)、BIDV銀行 (BID)、マッサングループ (MSN)、サコムバンク (STB)、ペトロリメックス (PLX) などが大きく下落した。

それらの銘柄は0.6-2.9%安となった。

一方、ポジティブな点として、外国人投資家は4営業日連続の買い越しとなった。両取引所を合わせて950億ドンの買い越しとなった。

農業、エネルギーセクターが上昇した。農業株セクターは2.4%高となったとベトストックが報じた。

ホアンインザライ (HAG) と HGAL 国際農業 (HNG) がそれぞれ2.1%高、3.6%高となり大きな上昇を記録した。Thaco が26%から28%に持ち株を増やすと発表してからのことだった。

原油価格の上昇がペトロベトナムドリリング (PVD) のようなエネルギー関連株を支えた。

ロンベト証券によると、直近数週間の上昇の後に弱含んできている。売り圧力は増加するが、急落するほどは多くないだろうと予想した。

投資家は警戒感を強めており、リスクマネジメントが重要であると同社は語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。